

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 日進市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価															
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価						今後の展開・改善点等		備考
				指標	実績数値	目標数値	指標	実績数値	目標数値		自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法			
巡回・窓口相談指導事業	地域内小規模事業者の経営改善を図るため、積極的な巡回・窓口相談事業を実施し、個々のニーズへの対応をし伴走型支援体制を充実させ事業所の経営改善と発展を支援するとともに、創業支援を始め、地域性等を鑑み、経営全般、経済環境の整備等を図ることを目的とする。	巡回窓口指導実企業数402社（うち非会員企業数15社） （一人当たり134件） 巡回窓口指導延べ件数775件（うち非会員企業数37件） （一人当たり256件） 課題解決提案件数17件（一人当たり6件） 経営革新承認件数0件（一人当たり0件）	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延べ件数 (達成度 64.6 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 56.7 %)	相談内容は多様化しているが、きめ細やかな伴走型支援ができ、指導内容の充実が見られた。	総合評価	B	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	指導件数、提案件数のさらなる増加を図り、会員満足度の向上に努める。また、コロナウイルス関係の相談にも柔軟に対応していく。			
記帳継続指導事業	商工会が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と併せて経営力向上に結びつけることを目的とする。	指導対象者数：96人 指導延べ日数：333日 指導延べ回数：859回 6月・11月に記帳確認指導会。7月・1月に源泉、年末調整指導会。2月・3月に決算、確定申告指導会の特別相談指導会を実施。	小規模事業者	指標	指導延べ回数 (達成度 83.0 %)	指標	(達成度 %)	指導日を決めて指導会を開催しているが、徐々に定着してきており、混雑が解消してきている。また、1回の相談を時間制限したことで、合理的かつ円滑な相談指導ができた。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	今後は記帳機械化処理件数増加に努める。また、2023年から導入される「インボイス制度」への意識改革も行っていく。			
講習会事業	経営環境の変化、多様化するニーズ等に対応すべく、小規模事業者に必要な金融・税務・労務・法律・記帳・情報等の知識習得や時事的な問題等を円滑に対処する。また、事業所の安全な労務管理運営のための資格取得に資することを目的とする。	集団：13回 94人 （うち経営革新2人） 個別：59回 436人 計：72回 530人	小規模事業者	指標	集団・個別参加者数 (達成度 88.3 %)	指標	(達成度 %)	キャッシュレスセミナーの開催等、会員ニーズに合ったタイムリーな講習会実施ができ、有意義なものであった。	総合評価	B	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	会員ニーズを把握し、近隣商工会との連携を図り、効果的かつ有効的な講習会を実施していく。			
地域振興祭事業（日進市岩崎城春まつり）	昭和62年、岩崎財産区が岩崎城を建立したことを契機に、日進市が城址公園整備を歴史記念館を建設され、市の歴史遺産を背景に地元工商業者が地域に密着した販売促進策とPR活動をするなど、地域総合振興を図ることを目的とする。	開催日：平成31年4月7日 ①殿様、姫様とおまんとうパレード・太鼓ショー・楽器演奏・パフォーマンス・バザー等を城址公園で実施。 ②鳴子おどり披露・バザーを岩崎東部多目的広場で実施。 ③両会場を結ぶ道中に「おもてなし街道」と称し、3拠点でサービスの提供を実施。	小規模事業者及び地域住民	指標	出店バザー売上高（万円） (達成度 127.5 %)	指標	来場者数 (達成度 123.1 %)	好天に恵まれ、来場者・スタンブラリー参加者ともに昨年を上回った。またバザー売上高も昨年を上回り、出店者の販売促進・店舗PRにもつなげることができた。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	城会場、川会場を結ぶ「おもてなし街道」の安全確保に努めていく。			
地域振興祭事業（にしんまつり）	小規模事業者の共同宣伝及び共同催事の実施により、もって、地域商工業の振興発展を促す。また、地域社会の活性化や地域住民との連携意識や高揚と融和を図ることにより、総合経済団体としての位置づけや組織強化を図ることを目的とする。	開催日：令和元年9月15日 会場を日進市役所周辺に設置し、市内外の鳴子おどりチームによる踊りの競演を披露する傍ら、飲食バザー・展示PR・体験コーナー等を実施する。コラボレーションとして、別途実行委員会による火花大会も同時開催し、相乗効果が得られた。	商工会員及び地域住民	指標	協賛企業数 (達成度 120.7 %)	指標	出店（展）企業数 (達成度 113.2 %)	来場者数・バザー売上高は昨年と比べて微減ではあったが、好天に恵まれ大盛況で終えることができた。また、協賛企業者のPRにもつなげることができた。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	出店者数は市内会員・市外会員合わせて毎年設定する上限数の申込があるが、市内会員の申込割合をもっと増やせるよう努めていく。			
地域振興祭事業（日進市産業まつり）	市・JAと三位一体となり日進市を挙げての総合振興事業で、地域商工業者の共同宣伝及び共同催事の実施により、地域商工業の振興発展を促し、各種団体の相互融和と連携を図ることにより、地域産業社会の活性化に資することを目的とする。	開催日：令和元年11月17日 会場を市役所周辺及びJA駐車場として行う。催事内容はステージ行事で商工PRの他、商工展示、飲食バザーを行い、商工会員には招待、抽選券を配布案内した。	小規模事業者及び地域住民	指標	出店（展）企業数 (達成度 78.5 %)	指標	来場者数 (達成度 114.3 %)	同日に別会場イベントがあり、午後は人がそこに流れたことでバザー売上高は昨年と比べて下がったが、出店者の販売促進・店舗PRにもつなげることができた。	総合評価	B	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	天候に左右される屋外催事なので対策も考えていきたい。また、食の安全も重要視されているので配慮していく。			
商店街振興事業（歳末感謝セール・抽選会/日進セレクト商品推奨）	近隣市町への消費流出の歯止めを掛け、市内小売・サービス業者の共同販売促進事業としての顧客サービスを一般的に消費の多い年末に開催し、廉価で大きな経済効果を生むことができる。また、日進の特産品「にしんセレクト」の認知度を高め、贈答品などとして購入を図る。	開催日：令和元年12月22日 販売促進チラシ等を3回新聞折り込みし、参加店PRを行う。にしんセレクト商品は、推奨品アピールPRを行う。	小規模事業者及び地域住民	指標	セール参加数 (達成度 87.5 %)	指標	(達成度 %)	セール期間は11月下旬から28日間行い、買い上げに応じて抽選券を進呈し、抽選会参加を促し、年末の販売促進に繋がった。抽選会も好評で経済効果が得られた。	総合評価	B	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	現行を維持しながらも、役職員の知恵を絞り一層の買いまわりによる販売促進につなげていく。			
地域産業活性化事業（友好姉妹提携事業）	長野県木祖村商工会青年部が当時（当時町）を視察訪問されたのが交流の始まりで、その後「商売の夢」が受け継がれていくようにと願い、平成元年提携を締結した。また、三重県志摩市商工会（当時阿児町）とも視察交流をしたことが始まりで、平成4年に提携を締結した。更に、それぞれで行政提携も行われた。継続的に人と物産の交流による経済の活性化を図っていくことを目的とする。	毎年5月の総（代）会への相互訪問。9月のにしんまつり・11月の日進市産業まつりには物産販売、志摩の夏まつり、ええじゃんかまつり、木祖の源流夏まつり、やぶはらまつり等々の催事で人的交流、経済交流を深めている。	小規模事業者及び地域住民	指標	交流参加人数 (達成度 157.5 %)	指標	(達成度 %)	毎年参加する三重県志摩市・長野県木祖村の通常総（代）会、両市村の祭り参加に加え、今年は10月6日に木祖村・日進市友好姉妹提携30周年記念式典を日進市で開催し、更に交流を深めることができた。	総合評価	B	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	引き続き交流の輪が広がり、継続できるような、平素並びに周年事業を継続していく。			
地域商工業活性化事業	市内購買率の拡大を図るとともに、市内事業者の活性化を図るため、会員店舗を広く地域に紹介し、地域住民が会員店舗で飲食や買い回り頻度を高めることを目的とする。	市内店舗を紹介する冊子作成及び配布を行う。また、商工会ホームページで店舗を広く紹介する。参加店舗数：147	小規模事業者及び地域住民	指標	参加店舗数 (達成度 91.9 %)	指標	(達成度 %)	昨年度に引き続き、企業PRと来店の際の割引サービス付の冊子を作成し、市内全戸配布を行い注目を浴び、掲載事業所の来店者数増加につながった。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	市と商工会での協議を重ね、市内企業のアピールと内需拡大策とした事業展開を行い、継続したい。			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 日進市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考	
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価						目標
				指標	達成度	実績数値	指標	達成度	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度			補足
経営強化—経営相談指導事業（会員の集い）	会員事業所を対象に、会員相互の交流の場を提供し、異業種交流を図り、新たなビジネスチャンスを創出することを目的とし、2月に開催計画をする。	開催日：令和2年2月14日。第1部として時局経営セミナーの開催。第2部として異業種交流会等を開催。新規加入会員及び加入予定者の商工会理解を推進した。	小規模事業者（会員事業所）	指標	参加者数 (達成度 68.6%)	指標	(達成度 %)	内容等の企画は工業部会で練られており、参加者にとって有意義な講習受講と異業種交流ができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 C 目標達成度 C	調査結果	満足度 B 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	開催日・会員ニーズに応じた設定を考慮して、内容等一部変更を検討していく。
雇用促進・健康維持推進事業（従業員定着アップ「ボウリング」「健康診断」事業）	小規模事業者にも大企業と同等の福利厚生が求められる中、ボウリングを通じて、小規模事業者相互の交流を図るとともに各社の事業主と従業員との交流をも図り、定着性向上を目的とする。また、健康維持推進として定期健康診断を実施し、労働安全衛生規則の励行と雇用の安定化に資することを目的とする。	ボウリング大会：星ヶ丘ボウルにて6月16日開催。124名参加。 健康診断：6月25日～27日を実施し、主に商工会館で実施したが、一部企業巡回も実施した。受診者381名。診断結果は、巡回で労働指導を行った。	会員事業所代表者・従業員及び家族	指標	ボウリング参加者数 (達成度 103.3%)	指標	健康診断受診者数 (達成度 108.9%)	会員同士の交流が深まり、帰属意識の高揚に繋がった。健康診断では、コースを新設したことでより効果的に実施することができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 B 必要性 A	補足	目標 両方現状維持 実施方法 両方現行どおり	ボウリング・健康診断とも定着化しているが、少し工夫を凝らした事業展開も検討していく。
青年部・女性部事業（青年部事業）	商工会事業を積極的にバックアップするとともに、経営者又は後継者としての経営資質向上を通じて、市内商工業の総合的な改善発達を図り、併せて日進市の振興発展、社会一般の福祉の増進、日進市の新しいまちづくりに取り組みすることを目的とする。	4月：日進市岩崎城春まつり 9月：にしん夢まつり 11月：日進市産業まつり 12月：歳末抽選会にて飲食、即売、ゲーム等を出店。 1月：ふれあいスキーツアーを市民向けに開催。 また、部員相互のスキルアップのため勉強会を開催する他、会員の集い参加で異業種交流を図った。	商工会青年部員・市内地域住民	指標	青年部員数 (達成度 111.7%)	指標	講習会・勉強会開催数 (達成度 50.0%)	組織強化のためのガイダンス等を行い部員増強に繋げることができた。更に、青年部員を講師とした勉強会を通じて経営資質向上ができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標 両方現状維持 実施方法 両方現行どおり	若手後継者事業を継続し、一層の経営力向上を図っていく。
青年部・女性部事業（女性部事業）	経営女性として、女性ならではの特性を活かし、知識と教養を深め資質向上を目的とし、商工会事業に積極的に参加することにより、地域の発展と活性化に奉仕の精神で寄与する。	4月：日進市岩崎城春まつり 9月：にしん夢まつり 11月：日進市産業まつり 12月：歳末抽選会に飲食、即売等に出席及び来場者サービスの提供を行った。 経営女性としての研修会・講習会、勉強会の開催と会員の集い参加で異業種交流を図った。	商工会女性部員	指標	女性部員数 (達成度 90.7%)	指標	講習会・勉強会開催数 (達成度 100.0%)	催事等、商工会事業に積極的に参加することで地域貢献に寄与することができた。また、部員ニーズを把握しながら中身の濃い講習・研修を行うことができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標 両方現状維持 実施方法 両方現行どおり	経営女性として、これから必要な勉強会を重ねていく。それによって部員数増加に繋がっていく。
部会・委員会事業（事業振興委員会）	従前2委員会を商工会事業の推進を行ってきたが、統合し、商工会一般事業及び経営改善普及事業に係る諸事業について区分しながら、各種事業の推進を図るとともに、会員間の交流、長野県木祖村商工会・三重県志摩市商工会との人的かつ経済的な交流を図り各地域の小規模事業者の発展に資することを目的とする。	長野県木祖村商工会及び三重県志摩市商工会との催事等に関する交流会を実施した他、会員間の交流促進を行った。	小規模事業者	指標	事業振興委員会会議数 (達成度 216.7%)	指標	(達成度 %)	長野県木祖村商工会、三重県志摩市商工会との催事等での積極的な交流を行った。また、地域振興に活かすための役員研修も行い、自己研鑽に努めた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	姉妹提携市村との交流はもちろん、日進市の更なる地域振興分野での発展に寄与していく。
福利厚生事業（共済事業）	地域内小規模事業者に対し、商工会の取り扱う各種共済の説明を行い、経営基盤の充実並びに節税対策等を図ることを目的とする。	商工会ニュース（商工にしん）の配布時に小規模企業共済・経営セーフティー共済・中小企業共済・火災共済・自動車共済等のチラシ配布を行った。また、巡回・窓口相談指導時に新規加入促進を図った。	小規模事業者	指標	共済手数料収入額（千円） (達成度 106.1%)	指標	(達成度 %)	各共済のメリット及び商工会の扱う共済として、安心安全をPRできている。また、各種共済担当者との連携も図れた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	継続したPRを進め、商工会加入のメリットとして加入推進を図っていく。
労働保険事業（労働保険事務組合事業）	労働保険事務組合は、小規模事業者等の委託を受けて、労働保険料の納付、各種届出等の事務を行うことにより、小規模事業者等の事務処理負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。また、手数料収入並びに報奨金は商工会の自己財源となる。	①労働保険料、一般拠出金の計算及び徴収金の申告納付。 ②雇用保険被保険者資格取得及び喪失の届出。 ③労働保険関係成立届、雇用保険適用事業所設置届等。 ④労働保険特別加入申請、変更申請、脱退届等に関する手続き等々を随時指導した。	小規模事業者	指標	適用事業所数 (達成度 94.3%)	指標	(達成度 %)	新規事務委託、他組合からの委託換えを含め、事務委託事業所数の増加に努めることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 C 目標達成度 B	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	特別加入、保険料の分納など、事務組合に委託することで得られるメリットを伝えることで委託推進を図っていく。
税務関係団体指導事業（青色申告会事業・法人会事業）	税務支援団体として、個人事業主を中心に青色申告を普及するための活動を支援し、団体事業運営などに協力する。法人会事業にあっては、愛知県20単会のうち昭和法人会及び日進支部活動を支援し、地域社会貢献や企業発展の一助となり、併せて地域内小規模事業者の発展に資することを目的とする。	①税務定例相談は、随時応談。 ②源泉・年末調整・記載確認・確定申告の指導会は、税務署関係団体との連携を図り実施した。 ③法人会における社会貢献活動として、市内催事に税務関連事業の普及を図るとともに、組織強化の研修会、税務講習会を開催した。	小規模事業者	指標	青色申告相談会参加者数 (達成度 105.7%)	指標	社会貢献・組織強化資料配布数 (達成度 55.7%)	パソコンによる記載が増加し、相談時間が長くなるため、時間を区切った相談対応にシフトした。その結果、待ち時間の短縮に繋がりがり、スムーズな対応ができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果	満足度 B 必要性 A	補足	目標 両方現状維持 実施方法 両方現行どおり	市税務当局との連携がより円滑に運営できるようにするとともに、確定申告資料の安全管理にも注意を図っていく。また、法人会として横の連携も図っていく。
経営強化事業（会員親睦ゴルフ大会）	会員事業所を対象に、会員相互の交流の場としてゴルフ大会を開催し、異業種交流を図り、新たなビジネスチャンスを創出することを目的とする。	開催日：令和元年6月19日 参加者数：85名	小規模事業者（会員事業所）	指標	参加者数 (達成度 89.5%)	指標	(達成度 %)	会員事業所間で異業種交流ができ、交流の輪を広げることができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果	満足度 B 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	開催日・場所等のニーズに応じた開催計画をしていく。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。